

### 第3回 (仮称) 宮っ子の誓い制定懇談会 (議事録)

■ 日 時 平成19年11月6日(水) 午後3時30分～4時30分

■ 会 場 教育委員室

■ 出席者

懇談会委員：鎌倉委員，小島委員，大塚委員，佐々木(英)委員，古川委員，北條委員  
松本委員，大場委員，古澤委員，渡邊委員，板井委員，佐々木(徳)委員

事務局：教育長，教育次長，教育次長(学校担当)，教育企画課長，  
教育企画課総務担当主幹，学校管理課長，学校教育課長，学校健康課長，  
文化課長，スポーツ振興課長補佐，教育センター所長，教育企画課長補佐  
教育企画課企画係長，生涯学習係長，事務局職員

■ 傍聴者 なし

■ 会議経過

1 開会

2 報告事項

(1)第2回会議の議事録について

3 議題

(1)起草委員会の検討結果について

4 その他

〈委員からの主な意見・質問等(要旨)〉

佐々木(英)委員：素晴らしい「誓い」であるが，子どもは，いろいろな人と関わりながら学んでいくことも大切である。起草委員会の中で，「宮っ子は世界に目を向ける」などという意見は出たか。

小島委員：「真ん中」という表現を検討する中で，主体性や積極性を持って日本や世界の輝かしい未来の創造の一翼を担う宮っ子になって欲しいという意見があった。

松本委員：「弱い人」とは，どのような人を指すのか。「弱い人」というと，自分が強い立場に立ってしまう。

小島委員：「いたわること」は，極めて一般的である。字数をそろえる意味でも「よわい」と表現した。「相手」でもよかったが，相手以外はいいのかという議論になる。また，「思いやり」という言葉は，学校教育目標の中に数多くあったため，「思いやり」という表現は避けた。

事務局：「思いやり」ということばは，68校中57校が，25校中12校が教育目標に位置付けてあった。

鎌倉会長：教育懇談会の子どもたちの反応はどうだったか。

- 事務局 : 子どもの反応は、差別的であるということもあったが、「弱い」や「弱者」は、差別用語ではない。
- 鎌倉会長 : 「宮っ子の誓い」に込めた内容は、パンフレットなどに入れる。セットで出すのか。
- 事務局 : 内容については、説明資料である。
- 鎌倉会長 : 「宇都宮っ子」としたのはなぜか。また、心の後に「,」をつけることはどうか。
- 佐々木(徳)委員 : 「弱い人」については、お年寄りや障害者と限定されてしまうが、この表現だと、説明がないと理解できない。「相手」というキーワードがいいのではないか。「相手の気持ちを大切にする」にしたらどうか。
- 板井委員 : どうしても「弱い」に目がいて限定されてしまう。「相手をいたわる」や「いたわる心」でもいいのではないか。「美しい」については、抽象的でわかりにくい。説明がないとわからない。
- 古沢委員 : 「弱い」がひっかかる。人の立場は常に変わるものである。お年寄りなど普遍的なものがいい。「いたわる」という表現は、行動に結び付く。「美しいもの」は抽象的なので、環境や自然などに絞っても良い。
- 古川委員 : 「弱い」という表現は、一般的に感じる。特に不思議に感じないので、読んだ人が判断すればいいと思う。
- 大塚委員 : 「弱い」については、漢字でも意味は同じであると思う。モノや人をいたわるというのはどうか。いろいろなものをいたわるでもいい。美しいは、対象を絞ったほうがいい。
- 佐々木(英)委員 : 黙読するのと、実際に大きな声で読むのとでは印象が違うと思う。
- 小島委員 : 制定方針では「他への思いやり」、「社会のきまりを守る心」、「がまんする心」を内容として入れることになっていたが、これは不足している力を補うもの。これだけでは子どもに送るメッセージとして不十分であると考え、これからの「宮っ子」の特徴となり、身に付けて欲しい力として「美しいもの」を盛り込んだ。
- 渡邊委員 : 唱和をして、リズムカル、シンプルであることを念頭に作成した。抽象的なものと言い出すと全て抽象的になってしまう。「美を求めてやまない心」は、大切な心である。「弱い」については、議論をしつくしたが、適当な他の言葉がなかった。
- 松本委員 : 「誓い」に込めた内容を入れて、説明することが必要である。
- 事務局 : 表面に「誓い」の本文を入れ、裏面に説明を入れるようにしたい。
- 鎌倉会長 : 額に入れるのは難しいが、印刷物で配布する時には、説明を付け加えることができる。この内容は本日決定するのか。
- 事務局 : 今後、パブリックコメントを行い、その内容を踏まえて、次回懇談会

で決定していく。

- 板井委員 : 「弱い人」の説明を読んでも、全ての人という意味であると思う。自分より「弱い人」をいじめるわけではないので、自分以外の全ての人という表現ではどうか。
- 渡邊委員 : 文部科学省の「いじめ」の定義でも「自分より弱い人」と定義している ので、「弱い」は差別用語ではない。
- 事務局 : パブリックコメントでの市民の意見を踏まえ、再度検討していただきたい。
- 鎌倉会長 : この文案をパブリックコメントにかけていくということで了解いただけるか。意見がなければ、この原案にパブリックコメントをいただくこととする。推進方策については、これまで皆さんからいただいた意見を踏まえまとめたものです。この推進方策で提言内容として進めてよろしいか。(了承)